押してもらう車椅子から一歩前進 ――― カルム®

CALM

Comfortable Activated Luxurious Mobility

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、カルムをお求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。ご使用になる前には、必ずお読みください。
また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

もくじ

1．ご使用のまえに・・2
1-1．安全に関する重要説明事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1-2．カルムの特長 ・・4
1-3．チェック事項 ・・4
1-4．各部の名称 ・・・5

2．ご使用について・・6
2-1．基本操作 ・・・6

3．調節について・・・8
3-1．必要な工具 ・・8
3-2．調節方法 ・・・8
3-3．設定目安表 ・・・13
3-4．サイズ表 ・・14

4．メンテナンスについて・・・15

5．主な仕様・・16

6．保証書・・・17

1．ご使用のまえに

1-1．安全に関する重要説明事項

・ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠注意 この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

⚠警告

段差や階段
・転倒防止補助輪を出して段差や階段などを越えたり降りたりする場合、転倒防止補助輪が段差にぶつかり転倒する危険性があります。
・座ったままで段差や階段などを介助者が数名で持ち上げる場合、必ずシャーシ部分（黒以外で着色されたパイプ）を持ってください。アームレストや押し手（バックレストパイプ）を持たないでください。

軽さとバランス（転倒）について
・バランスを決定する重要な要素は、後輪の軸位置、バックレスト角度、背シートの調整です。これらを調整されたあとで、実際に移乗や座った状態で後方へ背伸びをするなど体を動かして試し、安定性をチェックしてください。後方へ倒れる場合は、必ず転倒防止補助輪をご使用ください。また、バックレストに重い荷物などを掛けないでください。転倒の危険があります。

サイドブレーキについて
・サイドブレーキをかけるときには、必ず車椅子を停止させてさせてから使用ください。車椅子が動いている最中にかけるのは大変危険です。

操作について
・フットレストの最下部と地面の距離が少ない場合、フットレストが地面の隆起したところにぶつかり、車椅子が急停車し、体が前に投げ出される危険があります。

⚠注意

段差や階段
・段差や階段などを越えるときに介助者が転倒防止補助輪に足をかけて前輪を持ち上げると破損の原因となります。

シートと座位について
・間違った座位は褥瘡の原因になることがあります。正しい座位がとれているかわからなければ、理学療法士や作業療法士あるいは、シーティングについて教育を受けた方にご相談ください。
・サイドガードが大腿部を強く圧迫してないかチェックしてください。強く圧迫しているようであれば、褥瘡を引き起こす原因になります。
・シートクッションを必ず使用してください。

サイドブレーキについて
・ハンドリムを操作するときには、サイドブレーキに指を当ててケガをしないよう、充分に気をつけてください。

⚠注意

・乗る前にサイドブレーキが正しく操作できることを確かめてください。ネジが緩んでずれていれば、正しい位置に戻してご利用ください。
・移乗する際にはサイドブレーキの上に座ったり、引っ掛けたりしないように、注意をして下さい。
・立ち上がるときには、サイドブレーキに触れて解除されないよう、充分に気をつけて下さい。
・消耗したタイヤはサイドブレーキの効きが悪くなります。また、空気入りタイヤを使用する場合は、空気の抜けた状態では効きません。
・サイドブレーキのレバーはブレーキ操作時以外には触らないでください。レバーを持って立ち上がりの補助に使わないでください。体を支持するとレバーが破損します。

操作について
・フットレストを折り畳むと、回転させて外側に出すことができますが、元に戻すときに折り畳み軸の周辺の可動部で、指をはさまないように充分気をつけてください。
・足駆動で移動中に後ろから介助者が押すことは行なわないでください。足を巻き込み、怪我につながる恐れがあります。
・足駆動するときは、必ずソックス (足首を保護できるもの) と靴を履いてください。

緩みのチェック
・ネジとナットの緩みがないか、必ず確認してください。
・外した後輪を取り付ける時には、車軸に確実にはまっているか、いつも確認するようにしてください。

1-2．カルムの特長

①軽い力で動かすことができます。
折りたたみタイプの車椅子ですが、独自のフレーム構造（特許出願中）により、固定フレームに匹敵する高い剛性を実現し、足駆動もしやすく軽い力で動かせます。

②長時間座っていても疲れにくい車椅子です。
パンテーラ社（スウェーデン）で培われたノウハウと日本における座位保持の経験と技術をもとに開発されました。骨盤サポートとアンカーサポートがついたシーティングシステムによって最適な座位姿勢を保持できるので、快適に長時間座ることができます。また、乗り降りがしやすく、介助する方にもやさしい車椅子です。

③体に合わせることができます。
カルムは、小柄な７０歳台の日本人女性（平均身長１４８㎝）にもフィットする車椅子です。車椅子に身体を合わせるのではなく使う方の体格や能力、そして利用目的に応じて調整できるモジュール型車椅子です。

■ご利用される方の身体状況の確認
①下記のいずれかに当てはまる場合、カルムは生活場面で大いに役立つでしょう。
・両手は使えるが、両足がまったく使えない。
・左右のどちらかの手と足が比較的自由に使える。
・左右差はあるが両手は何とか使える。立って歩くのは困難だが足は動かすことができる。

②下記のいずれかに当てはまる場合、介助者が必要になりますが、カルムは椅子としての基本機能を持っていますので、快適な座位生活、そして座位での移動を楽しむことができるでしょう。
・手足を動かすことは困難だが頭部は安定して保持できる。
・介助があれば椅子に乗り移り、比較的安定して座ることができる。

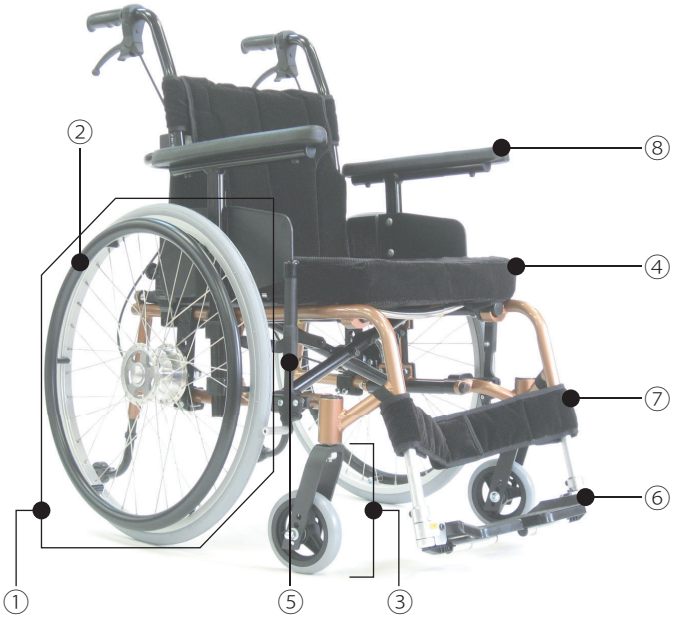
1-3．チェック事項

箱の中に以下のものが入っていますか？
- □ 本体
- □ 座面
- □ 取扱説明書 (保証書付き)

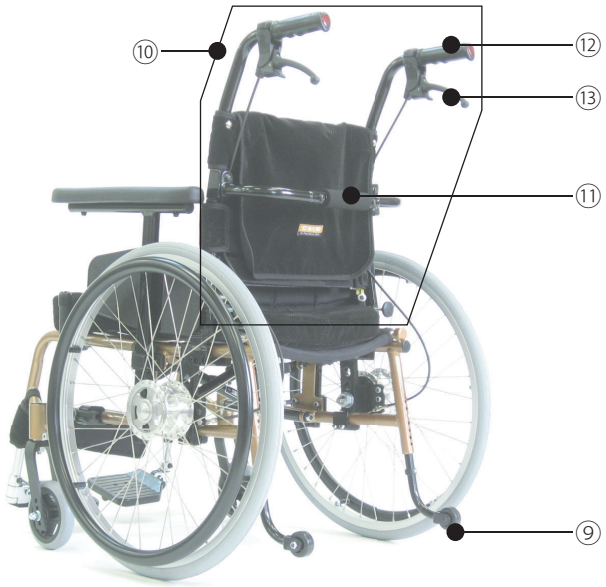
車椅子本体について
- □ 後輪の車軸が容易に取りはずせるか？
- □ 後輪を差し込んだ後に、ハブの中心のボタンがもとに戻るか？
- □ 折りたたみが容易か？
- □ キャスタ (前輪) が滑らかに回るか？
- □ シートフレームの後部が本体の受け部にスムーズに入るか？

以上のチェックで異常が見つかりましたら車椅子は使えません、直ちに納入事業者にご連絡ください。

1-4．各部の名称



①駆動輪
②ハンドリム
③キャスタ
④座面
⑤サイドブレーキ
⑥フットレスト
⑦レッグレスト
⑧アームレスト



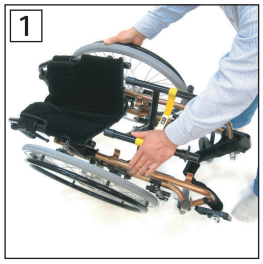
⑨転倒防止補助輪
⑩バックレスト
⑪折りたたみバー
⑫押し手
⑬介助用ブレーキ

2．ご使用について

カルムの特徴を理解し最大限に生かしていただくための使用説明です。
カルムは、座る人にとって快適な姿勢で座ることができるように設計され、しかも軽快に移動しやすいように工夫された車椅子です。また介助者にとっても安全性を考慮したものになっています。
機能を十分にご理解された上でご使用ください。

2-1．基本操作

a．車椅子の広げ方と組立



片手でハンドリム、片手でクロスバーを持って車椅子を広げてください。クロスバーと本体フレームに手を挟まないようご注意ください。

バックレストを起こし、ロックピンで固定し、折りたたみバーをしっかり伸ばしてください。

座面フレームの後端を本体フレームの後端にある受穴に、しっかり入れ、座面の前端を上から押さえ、ロックしてください。

最後にフットレストを内側にスウィングし、プレートをおろしてください。

b．車椅子の折りたたみ方と分解

b-1. 折りたたみ

フットレストを跳ね上げ、外にスウィングしてください。

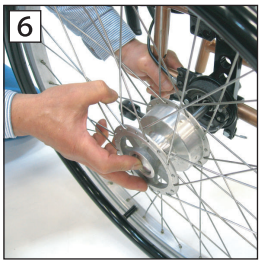
座面フレームの前端を上に引上げ、ロックを外し、前に引っ張りだしてください。

クロスバーの黄色のベルトとバックレストの折りたたみバーを持って、同時に上へ引っ張りあげてください。

バックレストのピンを黄色のマークまで引っ張りあげてロックを外し、後方に折りたたんでください。

b-2. 分解

アームレストを取外してください。



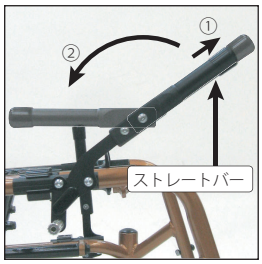
ブレーキを解除し、シャフトのボタンを押しながら、駆動輪を取外してください。
※取付けるときは、一度取付けた後に、ボタンを押さずに外に引っ張り駆動輪が抜けないことを確認してください。

シャフトのボタンを押しながら、キャスタを取外してください。
※取付けるときは、一度取付けた後に、ボタンを押さずに下に引っ張り駆動輪が抜けないことを確認してください。

分解。

c．サイドブレーキ操作

押すとブレーキがかかり、引くと解除されます。



ブレーキをかけたときレバーが邪魔な場合は、一度、上に引っ張り、手前に倒してください。

POINT
・通常、ストレートバーは手前に折れる設定になっていますが、身体状況などに応じて反対に折れる設定もできます。また、動かないように固定することもできます。
・サイドブレーキは、必ずストレートバーをロックしてからかけてください。故障の原因となります。
・サイドブレーキのレバーを持って立ち上がりの補助に使わないでください。体を支持するとレバーが破損します。

d．介助用ブレーキ

握るとブレーキがかかり、放すと解除されます。

握ってブレーキをかけたときに、ロックレバーをかけると、放してもブレーキがかかったままの状態になります。

POINT
・ロックレバーがかかっているときは、駆動輪が動かないか動きが悪くなりますので、確認してください。

e．キャスタ上げ

バックレストのグリップ部に上から力（荷重）をかけてキャスタを上げます。

乗り越える段差が高い場合、転倒防止補助輪は収納してお使いください。ご使用後は、元にもどしてお使いください。

POINT
・転倒防止補助輪はティッピングバーではありません。足で踏んだり体重をかけると破損の原因となります。

f．フットレスト

フットプレートを手で跳ね上げ、外にスウィングしてください。

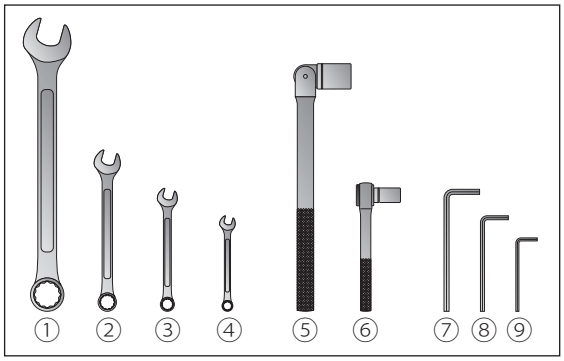
フットプレートを手で内にスウィングさせ、下ろしてください。そのとき、ロックされたことを確認してください。

POINT
・フットレストを全く使用しないという場合、フットレストを取り外し、ご使用ください。
・フットレストの開閉は足で操作しないでください。故障やケガ原因になります。
・車椅子から降りるときや乗るときは、フットレストの上に絶対乗らないでください。故障の原因になります。

3．調節について

カルムはご利用者の身体状況や使用状況に応じて適合するために調整・調節ができる高機能車椅子です。
快適に利用していただくために、調整・調節は必ず納入事業者に依頼してください。
ご自身で行う場合は必ず、この取扱説明書の指示に従ってください。

3-1．必要な工具



①２４㎜スパナ
②１３㎜スパナ
③１０㎜スパナ
④８㎜スパナ
⑤１７㎜ソケットレンチ
⑥１０㎜ソケットレンチ
⑦５㎜六角レンチ
⑧４㎜六角レンチ
⑨３㎜六角レンチ

3-2．調節方法

a．座面高調節

座面高の調節は設定目安表（p.１３、１４）を参考にして、「車軸位置」「キャスタホイール軸位置」の調節、または「駆動輪サイズ」「キャスタサイズ」の変更をしてください。

・車軸位置の調節
「１７㎜ソケットレンチ」「２４㎜スパナ」を使ってドラムブレーキ(アクセルハウジング付)を取外し、適切な位置に取付けてください。《写真１》
・キャスタホイール軸位置の調節
「１３㎜スパナ」「５㎜六角レンチ」を使ってキャスタホイールを取外し、適切な位置に取付けてください。《写真２》

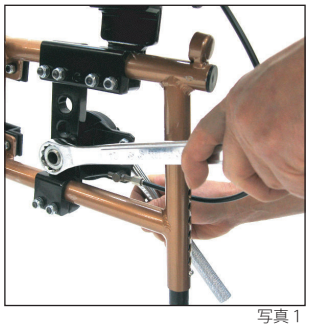


写真１

写真２

POINT
・座面高を調節するときは、サイドブレーキ位置の調整が必要です。
・ドラムブレーキ(アクセルハウジング付)を取付けるときにかかるトルクは「**２６N**(ニュートン)※1」です。
・ドラムブレーキ(アクセルハウジング付)を取付け/取外すときは、必ずドラムブレーキ(アクセルハウジング付)を固定し、ナットを回してください。

b．座面シート張り調節

シート前方のベルト①、②、③と、シート後方の面ファスナー④、⑤、⑥、⑦を緩めたり締めたりすることで、調節をします。《写真３》《写真４》

写真３

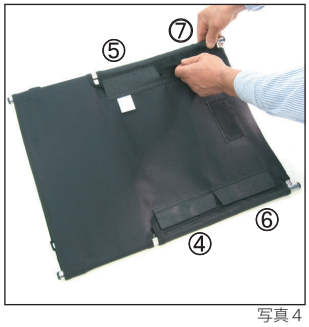


写真４

POINT
通常はシート前方のベルトを張り、シート後方の面ファスナーを緩めて張ると快適な座位が得られます。足駆動の場合は、足の動作を確保するために、シート前方のベルト①を緩めて使うこともできます。ただし緩めすぎると座面フレームに太ももがあたり、快適さを損ないますのでご注意ください。

ｃ．フットレスト調節

・フットレスト長の調節

「１０㎜スパナ」「４㎜六角レンチ」を使ってフットレストを取外し、適切な位置に取付けてください。《写真５》

写真５

写真６

・フットプレート前後位置の調節

「３㎜六角レンチ」を使ってフットプレートを取外し、適切な位置に取付けてください。また、フットプレート角度調節クランプを取外し、１８０°回転させて取付けることで、さらに、調節範囲が広がります。《写真６》《写真７》

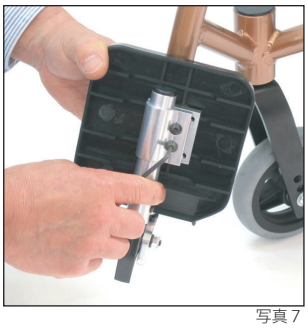


写真７

写真８

・フットプレート前後角度の調節

「３㎜六角レンチ」を使ってフットプレート角度調節クランプを緩め、適切な角度で締付けてください。《写真７》

・フットプレート左右位置の調節

「３㎜六角レンチ」を使ってフットプレート角度調節クランプを緩め、フットプレートパイプ上をスライドさせ、適切な位置で締付けてください。《写真 7》

・フットプレート取付パイプの角度調節

「４㎜六角レンチ」を使ってフットプレートロック溝の裏にある六角穴付ボルトで、調節をしてください。《写真８》

ＰＯＩＮＴ

・足底をフットプレートに着け、座面でクッションが大腿部も適度に支持できるように、高さを調整してください。シートの先端部と大腿部のひざ裏側との間に、手指がすこし入る程度が目安になります。シートと大腿部が強く密着しすぎるとむくみや血行障害の原因、ひざが高すぎると坐骨への負荷が重くなりで褥瘡の原因となることがあります。

・フットプレート角度調節クランプに取付ける六角穴付ボルトは「**２Ｎ**（ニュートン）[※1]」のトルクで締付けてください。

ｄ．レッグレスト張り調節

フットプレートに足をのせて、張りの調整を行います。足駆動する場合は不要ですので、取外してください。

《写真９》《写真１０》

写真９

写真１０

ｅ．座面奥行調節

座面奥行の調節は設定目安表（p.１３、１４）を参考にして、設定位置を決めて行なってください。
まず「１０㎜ソケットレンチ」「５㎜六角レンチ」を使って車軸アタッチメント、バックレストアタッチメント、アタッチメント押え板をスライドができる程度に緩めてください。
次に適切な位置にスライドさせたら、①→⑥の順で仮締めをし、設定していた位置が動いていないことを確認してください。確認後、①→④の順で本締めをしてください。
最後に⑤、⑥を本締めをしてください。
《写真１１》《写真１２》《写真１３》

写真１１

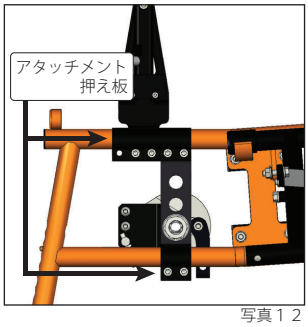


写真１２

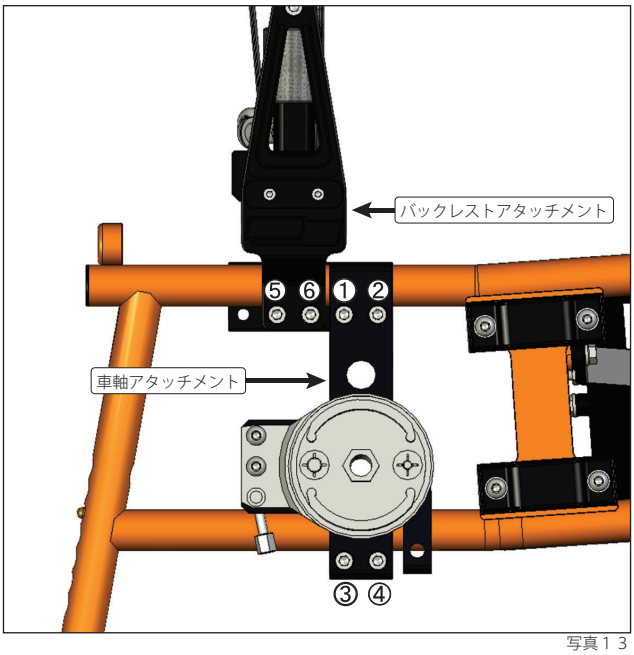


写真１３

ＰＯＩＮＴ

- １ヶ所だけ集中的に本締めをすると車軸アタッチメント、バックレストアタッチメント、アタッチメント押え板が本体フレームに対して片当たりして減り込んだり、塗装を剥がす原因になりますので、注意願います。
- 本締めのときは「**６Ｎ**（ニュートン）※1」のトルクで、締付けてください。
- 座面奥行を調節するときは、あわせてサイドブレーキ位置の調節が必要です。

ｆ．バックレスト角度調節

まず、角度調節ガイドボルトを緩めます。
次に、一度ロックピンを黄色のペイントの位置で止め、適切な角度位置を決めたら、バックレスト角度をロックします。
最後に、角度調節ガイドボルトを締め、先端がバックレストパイプにあたるところから、約 1/8 回転ほど緩めナットを締付けてください。《写真１４》《写真１５》

写真１４

写真１５

ＰＯＩＮＴ

- 左右のバックレストパイプは、同じ角度でロックをしてください。
- 角度調節ガイドボルトを締付けすぎるとロックピンが外れにくくなるので、ご注意ください。
- 角度調節ガイドボルトはバックレストを折りたたんで、元の角度に戻すときのガイドになります。

ｇ．バックレスト張り調節

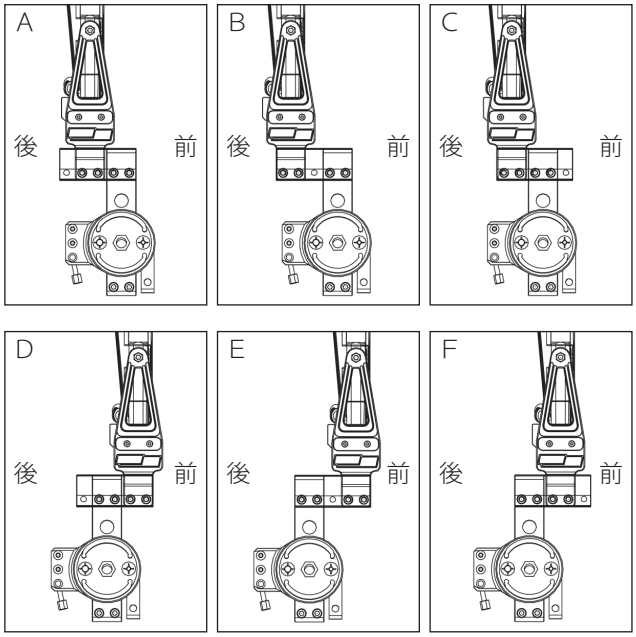
バックレストの５本のベルトを張ることによって調節ができます。
まず、ベルトを緩め、車椅子の奥深くにお尻を入れていただきます。
次に、しっかりサポートされるように、ベルトを締めてください。張り調節をすることによって、背中が最も心地よく支えられる位置を決めます。《写真１７》

写真１７

ＰＯＩＮＴ
ゆったり座ることができないという感じがする場合は、背座角が狭すぎる可能性がありますので、バックレストを少しずつ倒して適切な角度に調整してください。

ｈ．車軸（重心）位置の設定

まず「１０㎜ソケットレンチ」「５㎜六角レンチ」を使って車軸アタッチメント、バックレストアタッチメント、アタッチメント押え板を取付けている六角穴付ボルトを緩めるか取外してレイアウトを設定してください。
次に適切な位置に設定したら、ｐ.１０の「ｅ．座面奥行調節」の指示に従って締付けてください。



ＰＯＩＮＴ
・本締めのときは「**６Ｎ**（ニュートン）※1」のトルクで、締付けてください。
・各設定で座面奥行を調節する場合、「駆動輪とキャスタの接触」「駆動輪のスポークとアームレストアタッチメントの接触」「サイドブレーキ位置の制限」が出てきますので、それぞれを確認しながら調節を行なってください。
《図Ａ～Ｆ》

ｉ．アームレスト高さ調節

アームレスト高さ調節ツマミを取外し、適切な位置に取付けてください。《写真１８》

写真１８

ｊ．転倒防止補助輪

高さ調節ボタンを押して、適切な高さに調節してください。不要なときは、高さ調節ボタンを押して１８０°回転させ、収納するか､取外してご使用ください｡《写真１９》《写真２０》

写真１９

写真２０

ＰＯＩＮＴ

・駆動輪２２インチとキャスタ４インチで、一番低い設定にし、転倒防止補助輪を収納してご使用になる場合、樹脂車輪が床面に接するので、取外してください。
・転倒防止補助輪はティッピングバーではないので、介助者がキャスタ上げのため踏むことは破損の原因になります。

ｋ．サイドブレーキ調節

・サイドブレーキ前後位置の調節

「５㎜六角レンチ」を使ってサイドブレーキ取付けクランプを緩めスライドして、適切な位置で締付けてください。《写真２１》

写真２１

・サイドブレーキ上下位置の変更

「５㎜六角レンチ」を使ってサイドブレーキ取付けクランプを取外し、座面フレームパイプあるいは下のキャスター取り付けフレームパイプのどちらかに取付けてください。出荷時の状態は下のパイプに取付いています。《写真２１》《写真２２》《写真２３》

写真２２

写真２３

・ストレートバーの折畳み方向の変更

「８㎜スパナ」「３㎜六角レンチ」を使って取外し、ストレートバーを反転させ取付けます。このとき、ストレートバーが可動できることを確認しながら締付けてください。尚、折畳む必要がない場合は、しっかり締付けて固定してご使用ください。出荷時は手前に折りたたむ設定になっております。《写真２４》《写真２５》

写真２４

写真２５

※１　Ｎ（ニュートン）：１kgの物体に作用して 1m/sec2 の加速度を生じさせる力。１Ｎ＝１ kg･m/s2 。力の単位。

3-3．設定目安表

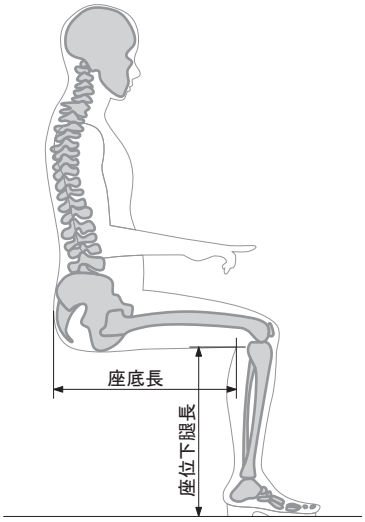


図１

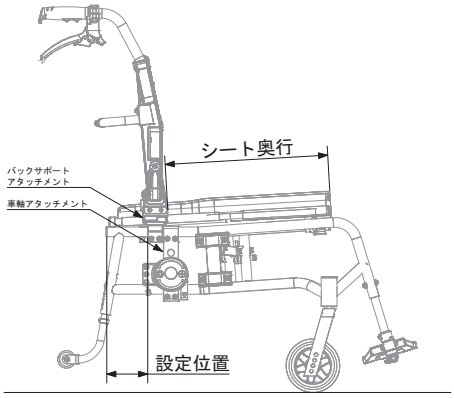


図２

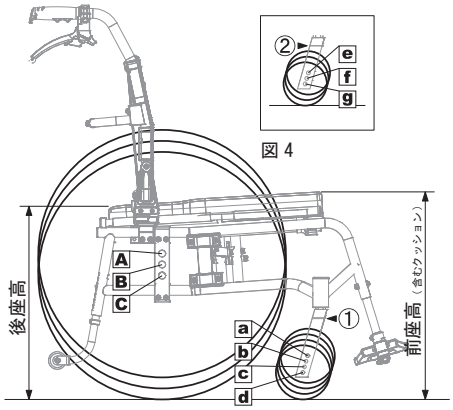


図３

図４

Ⅰ．シート奥行の設定目安表（踵高２～３㎝の靴使用の場合）

①足駆動ユーザの場合

身　　長	座位下腿長	前　座　高	座　底　長	シート奥行	設定位置
１４０㎝	３５㎝	４０㎝	４０㎝	３４㎝	１２㎝
１４５㎝	３６㎝	４０㎝	４１㎝	３４㎝	１２㎝
１５０㎝	３７㎝	４０㎝	４２㎝	３４㎝	１２㎝
１５５㎝	３８㎝	４０㎝	４３㎝	３５㎝	１１㎝
１６０㎝	３９㎝	４２．５㎝	４４㎝	３６㎝	１０㎝
１６５㎝	４０㎝	４２．５㎝	４５㎝	３７㎝	９㎝
１７０㎝	４１㎝	４５㎝	４６㎝	３８㎝	８㎝
１７５㎝	４２㎝	４５㎝	４７㎝	３９㎝	７㎝

②手駆動ユーザの場合

身　　長	座位下腿長	前　座　高	座　底　長	シート奥行	設定位置
１４０㎝	３５㎝	４２．５㎝	４０㎝	３４㎝	１２㎝
１４５㎝	３６㎝	４２．５㎝	４１㎝	３５㎝	１１㎝
１５０㎝	３７㎝	４２．５㎝	４２㎝	３６㎝	１０㎝
１５５㎝	３８㎝	４２．５㎝	４３㎝	３７㎝	９㎝
１６０㎝	３９㎝	４５㎝	４４㎝	３８㎝	８㎝
１６５㎝	４０㎝	４５㎝	４５㎝	３９㎝	７㎝
１７０㎝	４１㎝	４７．５㎝	４６㎝	４０㎝	６㎝
１７５㎝	４２㎝	４７．５㎝	４７㎝	４１㎝	５㎝

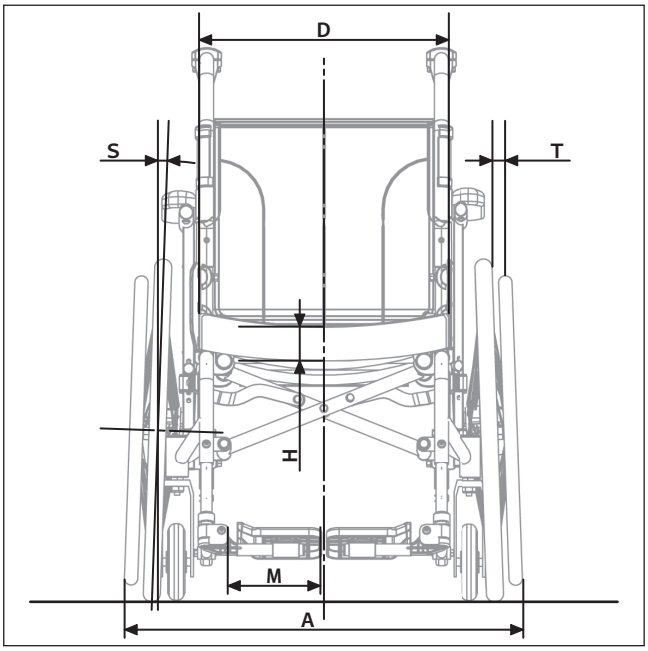
Ⅱ．座高の設定表

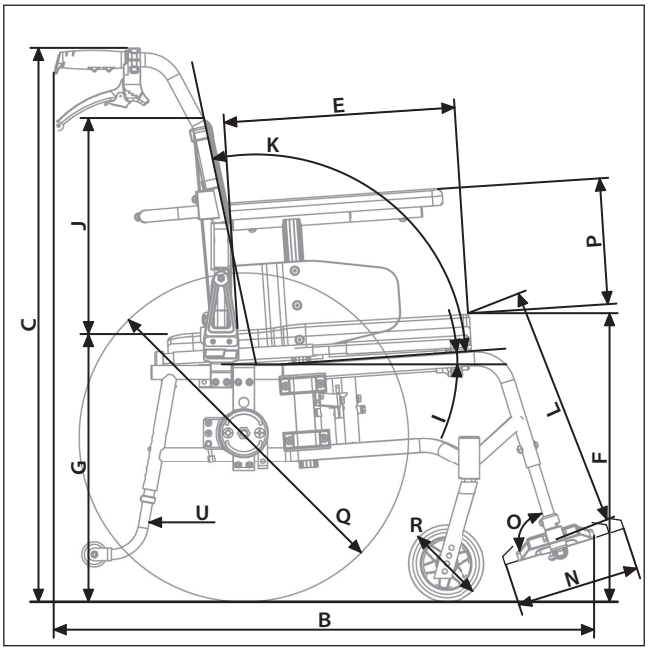
前　座　高	後　座　高	ｼｰﾄ角度（標準）	駆動輪径	車軸位置	キャスタ輪径	キャスタ穴位置
４０㎝	３７．５㎝	４°	２２インチ	A	４インチ	f
４２．５㎝	４０㎝	４°	２２インチ	B	５インチ	a
４２．５㎝※	４０㎝※	４°※	２４インチ※	A※	５インチ※	a※
４５㎝	４２．５㎝	４°	２２インチ	C	５インチ	c
４５㎝	４２．５㎝	４°	２２インチ	C	６インチ	b
４５㎝	４２．５㎝	４°	２４インチ	B	５インチ	c
４５㎝	４２．５㎝	４°	２４インチ	B	６インチ	b
４７．５㎝	４５㎝	４°	２４インチ	C	６インチ	d

「Ⅰ」の表について
・「シート奥行」の数値は、車軸アタッチメントが前、バックレストアタッチメントが後、の設定の場合です。
・「設定位置」とは「シート奥行」を調整する際の目安となるところです。
・「設定位置」はバックレストアタッチメントの後端からメインフレームのパイプエンドまでの距離です。
メインフレームのパイプエンドにあるキャップの厚みは含めません。
・「前座高」の調整は「Ⅱ」の表をご参照ください。
・「①」の表で設定した前座高が高すぎると感じる場合は、シートの最先端のベルトを少し緩めてください。
「Ⅱ」の表について
・「※」の設定の場合、アームレストの高さを上から２番目以降の穴で調整してください。
「図３」「図４」について
・「キャスタフォーク」の①は５インチ、６インチ兼用です。②は４インチのみです。

注意：この設定表はあくまでも目安です。ご利用者の身体寸法や使用方法や利用場所に適合するように調整ください。

3-4．サイズ表





サイズ表（駆動輪２２インチ＋キャスタ５インチ仕様時）

記号	名　称	寸　法
A	全幅 (出荷時寸法)	64 ㎝
B	全長 (出荷時寸法)	88 ㎝
C	全高 (出荷時寸法)	88.5 ㎝
D	座面幅	40 ㎝
E	座面奥行	33 ～ 42 ㎝
F	前座面高	42.5、45 ㎝
G	後座面高	40、42.5 ㎝
H	座面厚	4 ㎝
I	座面角度	4 度
J	バックレスト高	33 ㎝
K	バックレスト角度	90、95、100、105、110 度

記号	名　称	寸　法
L	フットレスト・座面間距離	37.5 ～ 45 ㎝ (7 段階)
M	フットプレート左右位置	無段階調節
N	フットプレート前後位置	4 段階調節
O	フットプレート角度	無段階調節
P	アームレスト高	18 ～ 24.25 ㎝ (6 段階)
Q	駆動輪径	22 インチ (ノーパンク)
R	キャスタ径	5 インチ
S	キャンバ角度	2 度
T	ハンドリング間隔	2.5 ㎝
U	転倒防止補助輪	7 段階調節
V	重量	17.7 kg

4．メンテナンスについて

定期検査と以下の手入れを行うと長期間快適に使用できます。
※もし砂や海水等の影響を受けるような環境で使用する場合、最低月に１度は掃除と点検をしなければいけません。

【毎月おこなっていただきたいこと】
・フレームの清掃
　中性洗剤（カーシャンプーまたは食器洗い洗剤）および湿った布を使って泥やホコリを拭き取り、乾いた布で仕上げ拭きをしてください。その後、必ず可動部分に注油 (ミシン油) することを忘れないでください。ただしベアリングには注油しないでください。
・フォークとキャスタホイールの接する部分（前輪の車軸部分）の清掃
　ほこりや髪の毛がつきやすくベアリングをいためる心配があります。１０㎜スパナを使ってナットを緩めて、ボルトを抜き、キャスターホイールを取り外してください。ホイールとフォークの間をきれいにし、ホイールのベアリング部を布切れで拭いてください。
・後輪車軸への注油
　車輪を取りはずし、車軸の上に数滴注油してください。雨の日に外出した後、普段車輪を取り外すことが少ない場合は、サビ止めのために注油の回数を増やす必要があります。
・すべてのネジとボルトを点検し、必要なら増し締めしてください。
・損傷箇所がないか、点検してください。損傷がみつかった場合は、すぐに販売店にご連絡ください。
・後輪がノーパンクタイヤ (空気を入れるチューブではなく、クッション材が入れてあります) の場合は、空気圧の点検も不要ですが、エアータイヤの場合は、米式バルブ用の空気入れを使い、空気圧を７５０kpa(7.5気圧) を適正に保ってください。

【半年に１度おこなっていただきたいこと】
・サイドブレーキの可動部分に適量注油してください。
・バックレストとの角度調節部に適量注油してください。
・座面シートや背シートは、必要なら３０度のぬるま湯で手洗いしてください。ドライクリーニングは避けてください。

【保管場所】
次のような環境での保管はしないでください。故障の原因となります。
・雨に濡れるところ
・炎天下や直射日光が当たるところ
・高温･多湿

【廃棄方法について】
廃棄する場合は、各自治体の取り決めにしたがってください。

5．主な仕様

項　　目	仕　　様
全幅×全長×全高	６４０×８８０×８８５㎜（駆動輪２２インチ＋キャスタ５インチ仕様の出荷時寸法）
座　　幅	４００㎜
バックレスト高	３３０㎜（クッション上面より）
重　　量	１７．７kg
駆　動　輪	２２インチ：ノーパンクタイヤ（発泡ポリウレタン） ２４インチ：エアタイヤ（エアチューブ） ドラム式ブレーキ付ホイール（ワンタッチ取外し式） ハンドリム：樹脂　　キャンバ角度：２度
キャスタ	４、５、６インチ：ソリッドラバータイヤ フロントフォーク（ワンタッチ取外し式）：アルミ
座　面　部	フレーム：ステンレス シート・クッションカバー・座面カバー：合成繊維 クッション：発泡ポリウレタン
バックレスト	パイプ：アルミ（電浴塗装） バックレストシート：合成繊維／発泡ポリウレタン
介助ブレーキ	ドラムブレーキ　　ブレーキレバー：樹脂
サイドブレーキ	折りたたみ式レバー：アルミ／樹脂
アームレスト	高さ調節式フレーム：アルミ（アルマイト加工） クッション：発泡ポリウレタン サイドパネル：樹脂
フットレスト	折りたたみスウィング式：アルミ（アルマイト加工） プレート：樹脂
転倒防止補助輪	パイプ：アルミ　　車輪：樹脂
主材質・処理	パイプ：アルミ メインフレーム塗装色：カルムゴールド（粉体塗装）
折りたたみ方式	シングルブレース：（電浴塗装）
折りたたみ幅	３９０㎜
折りたたみ高さ	６１０㎜（アームレスト取外し時）

保　証　書

本保証書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ずお買い上げ日・販売店名・ご住所・電話番号の記入をご確認ください。

保証規程

1．保証期間は、納品日より１年間です。
2．保証期間中に取扱説明書に従った正常な状態、または、製造上の欠陥において故障した場合には、保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。
3．保証期間内でも次の場合は、有料修理となりますのでご了承ください。
　a）保証書をご提示されないとき。
　b）本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
　c）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　d）落下による故障または損傷。
　e）火災、地震、水害、塩害、その他天変地異ならびにその他の各部位要因による故障または損傷。
　f）日常使用における損耗。（タイヤの磨耗及びパンク、シートの破れ、塗装の損傷など）
　g）激しいスポーツでの使用による故障または損傷。
4．修理のために製品を発送される場合の送料はお客様負担となりますのでご了承ください。
5．本保証書は、日本国内に於いてのみ有効です。（This warranty is effective in JAPAN.）
6．本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間	お買い上げ日 20　　年　　月　　日から **1年間**		
商品名	**カルム**	シリアル No.	
お客様	お名前	電話番号	
	ご住所		
販売代理店・住所・電話番号			

SAMPLE

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、販売店または製造元までお問い合わせください。

生産物賠償責任保険について
この製品には、すべて生産物賠償責任保険がかかっています。万一、製品の使用中、製品が原因と思われる事故、怪我などが発生した場合、販売店または製造元へご連絡ください。

製造元
Panthera Japan
パンテーラ・ジャパン株式会社
〒258-0019 神奈川県足柄上郡大井町金子1018
TEL.0465-85-3552　FAX.0465-83-8861

Panthera Japan
パンテーラ・ジャパン株式会社
〒258-0019 神奈川県足柄上郡大井町金子1018
TEL.0465-85-3552　FAX.0465-83-8861
0120-196013
フリーダイアル
URL　http://www.panthera-japan.jp
E-mail　info@panthera-japan.jp